


 授業、頑張ってます！
 


〔苗畑実習：背景の緑は山に植える苗木〕

北森カレッジの学生は、6月に授業が本格的に始まってから、森林・林業の基礎的な知識や技術を中心に学んでいます。夏は気温が30℃を超える日もありましたが、精力的に学習に取り組んでいます。また、新型コロナウイルスの影響でカリキュラムを見直したため、資格講習が続く日もありましたが、真剣に取り組み、見事、資格試験に合格し、学院で取得できる14の資格等のうち、これまで8の資格を順調に取得しました。最近では、現場で樹木の伐倒などの反復練習を行い、実践力を確実に身につけています。

今後は、技術を身につけるだけでなく企業等の中核を担えるよう、森林計画制度や林業経営、木材の加工や流通の仕組みなど森林・林業に関する総合的な知識を深めることとしています。

授業の様子は、随時Twitterに掲載していますので、ぜひご覧ください。

《資格講習》



伐木等業務従事者



車両系建設機械運転



走行集材機械運転業務



玉掛け



刈払機取扱作業者



不整地運搬車運転



伐木等機械運転業務



小型移動式クレーン業務

学生会の活動について

学生会では学生同士の親交を深めるため、7月11日にバーベキューパーティーを開催しました。この集会は役員が中心となり、会場の手配から材料の調達など学生自ら企画したイベントです。当日は教員もお誘いいただき、学生同士や教員の距離が縮まった一日となりました。



学生会役員一覧

| | |
|--------------|--------------------|
| 会長 | 和泉一紘 |
| 副会長 | 眞崎岳紀 |
| 会計 | 佐藤直人 東田圭太 |
| 書記 | 立石陸 |
| 監査 | 寺越大将 |
| 学校祭 実行委員会 | 鎌田和希（正） 田部諒太（副） |
| 文化委員会 | 岩井慶太（正） 田野航太（副） |

支援協議会から給付金が贈呈されました

9月15日に、北海道林業・木材産業人材育成支援協議会の沓澤代表幹事と巻口副代表幹事が来校され、インターンシップに伴う交通費や宿泊費などに活用してもらうため、学生一人ひとりに対して給付金4万円（前期分）を贈呈していただきました。

この協議会は、道内の林業・木材産業関連団体が主体となって昨年10月に設立され、企業や市町村等が拠出して積み立てられた基金をもとに、学生の就学を支援し本道の林業・木材産業の次代を担う人材育成の支援を行っています。

贈呈式当日は、沓澤代表幹事から「今後は地域実習やインターンシップの移動距離に応じて給付する。全道各地の遠くまで躊躇することなく行っていただきたい。」との学生に向けたエールに対し、学生代表から「志を持って入学した私達への応援メッセージと受け止め、大切に活用させていただきます。」と気持ちを新たに感じていました。



〔沓澤代表幹事〕



〔贈呈式〕

地域見学実習、インターンシップについて

10月19日から4日間にわたり、学生の林業・木材産業等の就業イメージを構築するため、短期就業体験研修（インターンシップ）が道内各地の20林業事業体において行われました。学生たちは、初めての就業体験のため、出発前は緊張していた様子でしたが、研修後は「勉強になった。自分達にすごく期待してくれていることが分かった。自分ももっと頑張らなければいけないと思った。」などと話してくれ、充実した研修となったようでした。

11月には、道内各地の特徴的な森林や特色ある林業を見学するため、地域見学実習が行われます。貴重な経験を通して、多くの知識や技術を身につけてくれることを期待しています。



「なおみちカフェ」が開催されました

10月15日に、鈴木直道 北海道知事が北森カレッジを訪問され、道内各地を巡り地元の人と語る「なおみちカフェ」と題して、学生の皆さんと懇談しました。

鈴木知事は、はじめに授業風景を視察した後、木を倒して枝を払い、丸太を作る高性能林業機械「ハーベスタ」のシミュレーター操作を体験しました。

その後の懇談会では、鈴木知事から冒頭に「第1期生の皆さんが学院の歴史をつくっていく」との挨拶があり、学生たちへエールを送られました。学生の目指す夢や目標、将来像を聞いた後、鈴木知事からは「皆さんの力強い言葉に勇気をもらった。コロナ禍のスタートで課題はあると思うが、皆さんの道が確かなものとなるよう、これまで以上に協力していく。」と力強く応えていただきました。



〔授業風景の視察〕



〔シミュレーター操作体験〕



〔なおみちカフェ（写真左が鈴木知事）〕



〔知事とグータッチでお見送り〕



〔集合写真〕

「なおみちカフェ」 生徒の発言を紹介します



真木淳さん

北森カレッジを選んだ理由

■ 広大な自然と言えば北海道。自然に関する仕事に就きたいと思い、この学校で森林や林業の知識を身につけ、あらゆる現場で即戦力として働きたいと思った。



佐藤直人さん

■ 大阪でアルバイトをしたとき、木に触れることがあった。木がどのように変化していくのか学んでみたいと思った。自然が好きで北海道に憧れがあった。



宮本哲弥さん

■ 林業で90歳までケガなく元気に働きたい。安全に関するしっかりとした基盤を身につけられるのは専門学校、北森カレッジだと思った。

入学してみたの感想

■ 学院の設立とコロナ禍が重なった中、企業や関係者の方々の手厚いサポートを感じている。全道各地の見学実習では、様々な知識も深まるし、こういったことが得られるか楽しみ。



武田麦さん



亀山陽司さん

■ 東京で働いていたが、思い切って移住し入学した。ここには林業の理想像を語ったり、キノコ狩りが好きな人がいたりと愉快的仲間がいる。授業では先生が「最後は自分で考えなさい」と指導してくれる。

■ 林業を支えていかなければならない使命感を感じる。懸命に講義に取り組んでいる先生たちの姿をみると、中途半端な気持ちではなく、期待に応えなくてはと感じている。



東田圭太さん

将来の抱負や目標

■ 学校で競技チェーンソー部を立ち上げた。限られた時間の中で多くの技術を学び、実力のある林業家になりたい。



鎌田和希さん

■ 今まで関わってこなかった分野をこの学院で学んで、自分にできるのか不安に思うこともあるが、長く続けられる林業の仕事を見つけ、取得した資格を活かして働きたい。



下谷亜記さん



青砥愉高さん

■ 将来、自分の地元である十勝で林業をしたい。林業を通じて地元や北海道を盛り上げられる人になりたい。学院が開校して間もないが、先生方とこれから楽しく一生懸命頑張りたい。

■ 卒業後は民間企業に勤めながら、北森カレッジの運営にも協力していきたい。将来は教員としてこの学校に戻ってきたい。



和泉一紘さん



高橋悠河さん

■ 現在は、所属している競技チェーンソー部でJLC（日本伐木チャンピオンシップ）を目指して一生懸命練習している。卒業後は道内の林業に就き、ゆくゆくは世界を見据え広い視点で活動していきたい。



サークル活動の様子

【チェーンソー部】

(代表：岩井 慶太)

チェーンソーに慣れる事や、JLC (日本伐木チャンピオンシップ) 出場に向け、放課後や休日で練習中！



【羽球サークル】

(代表：松下 和弘)

旭川市内のバドミントン好きが集まる体育館で、楽しく活動しています！



【フィッシングクラブ】

(代表：田部 諒太)

主に川釣りをメインとして、旭川近郊で大物を狙います！



【バレーサークル】

(代表：青砥 愉高)

スポーツ好きが集まり、心と心を通じ合わせながら、親睦を深めています！



【山菜部】

(代表：五十嵐 巧真)

雄大な自然に囲まれた北海道で、山登りや、きのこ狩りなどを体験しています！



【ウィンタースポーツ部】

(代表：齊藤 海依)

美しい雪景色を堪能しながら、SAJ(全日本スキー連盟)の級別テスト合格を目指して特訓します！

新校舎の建設状況

新校舎の建設工事は、来年4月の供用開始に向け、順調に進んでいます。現在、建物の柱や壁が概ね完成し、外観の一部が見られるようになりました。今後は、内装や室内設備の整備、外構工事を進めていく予定です。

また、環境にやさしい校舎とするため、オーストリアから輸入した木質チップボイラーは、来校者が見学しやすいよう校舎正面に設置することとしています。ボイラーの燃料には、上川管内で生産された木質チップを使用し、地域材をバイオマスエネルギーとして利活用する予定です。



〔7月上旬〕



〔10月下旬〕

お知らせ（後期授業料等について）

後期授業料（81,600円）と後期学生諸費（50,000円）の納入期限は、11月13日（金）です。納入通知書などの関係書類は、各ご家庭宛てに発送しておりますので、速やかに納入して下さいます。

また、緑の青年就業準備給付金については、申請を行った学生に対し、7月に第1回給付、10月に第2回給付を実施しています。今後の給付額については、国の予算により変動しますので、決まりましたら随時お知らせします。なお、給付金の受給要件の一つに「授業時間1,200時間以上の出席」がありますので、できるだけ授業を欠席しないようお願いします。

北森カレッジの校歌が決定しました！

札幌市出身のシンガーソングライターである笹木勇一郎さんから、「地元北海道の森林を守る貴重な人材を育成する北森カレッジの開校に強く感銘を受け、協力したい」と校歌提供の申し出がありました。当学院では、提供いただいた楽曲「木漏れ日の賛歌」が生徒の母校への帰属感や連帯感、学院のイメージアップなどにつながることから、その申し出を受け入れることとし、当楽曲を校歌として決定しました。

笹木さんからは「昨年12月に旭川を訪れた際、インスピレーションが湧き、その日の夜に曲を思いついた。学生の皆さんにこの曲を好きになってもらいたい。」とのコメントをいただいております。

この楽曲は、胸が熱くなる歌詞で素敵なメロディとなっており、入学式や卒業式等の学校行事や学院のPRに活用させていただきます。

北森カレッジ校歌 「木漏れ日の賛歌」

作詞・作曲 笹木 勇一郎

ピアノ編曲 幡宮 航太

校歌は、北森カレッジYouTubeで配信中です。

北の森づくり専門学院

検索



〔笹木勇一郎さん〕

北森カレッジ学生募集について

北森カレッジでは、来年度の入学者の確保に向けて、SNSなどでの北森カレッジの魅力発信をはじめ、道内外の高校訪問や進学相談会への参加、毎月の学校説明会開催などPR活動を積極的に行ってまいりました。

その結果、10月に実施した推薦入学試験や11月実施予定の一般入学試験では、定員を超える出願を受け付けております。

今後とも、学生定員の確保に向けて努力してまいりますので、本道の林業・木材産業に興味のある方や北森カレッジに興味のある方に、情報提供いただけると幸いです。



〔8/29 オープンキャンパス〕

■編集後記■

6月から授業が開始されて早5ヶ月。学生は学校生活に慣れ、実習やサークルなどで個性を遺憾なく発揮し、活発に活動しています。また、インターンシップなど道内各地を回ることで、着実に学生自身の視野が広がっており、成長しているなど感じています。若いうてステキです。

そんな学生を見守りつつ、来年は着実な就業へつながるよう、教務課職員も着々と準備を進めています。

学校の授業風景やイベント情報など学生の様子はSNSで随時発信しており、職員の励みにもなりますので是非「いいね！」のフォローをお願いします。

■■■学生の様子はこちらから■■■

ホームページ

Facebook

Twitter



発行

〒078-8381 北海道旭川市西神楽1線10号

北海道立北の森づくり専門学院 教務課

Tel(直通)：0166-75-6163 Fax：0166-75-6160

「OGARU」とは北海道の方言で「成長する」「大きくなる」という意味の言葉「おがる」です。北森カレッジの学生や、北海道の森林が大きく成長する願いを込めています。